

IV. 熱中症を予防するための「見える化」

日差しをさえぎる物のない海上作業でも

船の鋼甲板を木にして熱中症予防の見える化

起重機船・スパット台船等を使う海上作業船上は鋼製甲板に塩害防止とメンテナンスのため錆止めと塗装だけ施工されているのが現状です。甲板員・作業員は鋼製甲板上での作業がほとんどですので鋼製甲板上に木を取付け木製甲板(ウッドデッキ)として作業環境を整備しました。



木製甲板を敷き詰めた部分の資材置場 作業区画



木製甲板を敷き詰めた部分の安全通路

木製甲板(ウッドデッキ)を採用して。

- ① 鋼製甲板と比べ 場所により3℃～11℃も温度が下り作業環境が整備された。
- ② 木製甲板を敷き詰めることで床面が一新され安全通路段差等の表示が明確になり安全面が整備された。
- ③ 機械・タンク類周りのコーミング部分は段差が残った。しかし、段差の黄色ペンキ表示で整備して対応した。
- ④ 熱中症対策と甲板上がきれいになったことで、甲板員・作業員の安全意識向上と規律遵守の意識高揚につながった。



木製甲板を敷き詰め出来ない部分は錆止め再塗装



機械・タンク類周りのコーミング部分
段差の黄色ペンキ表示



段差部分の「黄色段差あり」表示